



2023年5月15日

各 位

会社名 株式会社海帆
代表者名 代表取締役 吉川 元宏
(コード番号:3133 東証グロース)
問合せ先 執行役員管理本部長 水谷 準一
(TEL. 052-586-2666)

営業外収益及び営業外費用並びに

特別利益及び特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、2023年3月期（2022年4月1日～2023年3月31日）において、以下のとおり営業外収益及び営業外費用並びに特別利益及び特別損失を計上することとなりましたので、お知らせします。

1. 営業外収益の内容

2023年3月期累計期間（2022年4月1日～2023年3月31日）において、主に関係会社に対する短期貸付金の受取利息として、受取利息26百万円を計上しました。

2. 営業外費用の内容

2023年3月期累計期間（2022年4月1日～2023年3月31日）において、銀行借入金利息やリース債務に係わる支払利息として、支払利息29百万円を計上しました。また、6月21日に開示いたしました「後発事象に伴う営業外費用の計上に関するお知らせ」のとおり、2022年3月期（2021年4月1日～2022年3月31日）において助成金収入として見込んで計上していた一部の金額について、支給対象外となったことから、助成金返還損として30百万円を計上しております。

3. 特別利益の内容

2023年3月期累計期間（2022年4月1日～2023年3月31日）において、既存店舗における退店時の原状回復費用として、事業整理損失引当金繰入額を計上しておりますが、退店における原状回復時費用が見込み額よりも抑えられたことで、資産除去債務戻入益5百万円を計上しました。

4. 特別損失の内容

2023年3月期累計期間（2022年4月1日～2023年3月31日）において、店舗の撤退処理により固定資産除却損4百万円、「固定資産の減損に係る会計基準」に従って、当初予定していた収益が見込めないと考えられる店舗等の固定資産につきまして減損損失399百万円を計上しました。また、既存店舗における退店時の原状回復費用などの見込み額として、事業整理損失引当金繰入額60百万

円を計上しております。店舗等の減損損失は個店単位では利益化が進んでおりますが、店舗数が少なく抑えられている一方で全社共通費の減少が限定的であったため減損処理を余儀なくされたものであります。

5. 業績に与える影響

上記、営業外収益及び営業外費用並びに特別利益及び特別損失につきましては、本日公表の「2023年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」に反映しております。

以 上